

学校現場のデジタル化に対応した教育環境のシステム化

オーガナイザ：

本田敏明（茨城大学）

技術の進歩, 教育観の変遷により, 教育環境が大きく変化している. 電子黒板やタブレット PC, デジタル教科書などがすでに学校現場で一部導入され, 実践が蓄積されている. その中で, 教育システム情報学会として, これらの実践知をシステム化し, 誰でもが使える, 誰にでもわかりやすくすることが急務といえる.

本ワークショップでは, 教育の情報化の現状や課題を把握し, 教育環境のシステム化の視点から課題解決の方法や今後の展望を模索する. 議論の方法としては, パネルディスカッションを行う. パネリストから, まず, 児童生徒用の PC や情報機器, デジタル教科書の開発・導入・運用について関連企業から現状報告や問題提起を行っていただく. 次に, それらを導入する地域の教育行政の立場から, 教育の情報化の現状や課題について報告していただく. さらに, デジタル化された教育環境で可能になる TEAL (Technology- Enabled Active Learning) の導入についてご紹介いただく. その後, パネリスト及び参加者の全員で議論する. 教育の情報化で求められるハードウェアやネットワーク, デジタル教科書等の学習コンテンツの充実, ICT 支援員等によるサポート体制の確立などについて検討し, 学校教育のデジタル化で実現する新しい教育の在り方や学習方法について展望する.

■ 開催日時：8月22日（水）10:00～11:50

■ 内容

- (1) 学校現場のデジタル化に対応した教育環境のシステム化
西野和典（九州工業大学）
- (2) 学習を支える ICT 環境の現状と課題
村松祐子（富士通株式会社）
- (3) デジタル教科書の現状と今後の動向
小田良次（実教出版株式会社）
- (4) 教育の情報化の学校現場及び教育行政の状況と課題
本田博行（千葉県船橋市総合教育センター）
- (5) TEAL プラットフォームとしてのタブレット PC
田村恭久（上智大学）